

No. 75

9月定例会

令和5年11月21日発行

やまなし

# 市議会

だより

歳入歳出予算にそれぞれ6億9,367万1千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ238億1,607万6千円とする一般会計補正予算など33案件を可決しました。

## 目次

定例会の概要	2
議案等審議結果	2~3
代表質問	4~6
一般質問	7~11
オンライン訪問診療車説明・見学会	11
委員会報告	12~15
議会活動日誌・編集後記	16

令和5年10月28日 信玄公祭り

甲州軍団武田二十四将風の3番隊「真田弾正忠幸隆隊」出陣のようす。

# 9月定例会の概要

市長から提案された条例改正、令和5年度一般会計補正予算などの審議を行いました。

## 議案第74号

### 令和5年度山梨市一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算にそれぞれ6億9,367万1千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ238億1,607万6千円にするもの。

#### 【主なもの】

- ・キャッシュレス決済によるポイント還元キャンペーン事業1億7,290万円余
  - ・デマンド交通導入に向けた実証運行事業3,540万円
  - ・旧市役所跡地の事業実施設計、情報通信センター移転設計業務及び建物解体事業など4,506万円余
  - ・山梨市民総合体育館の改修及び修繕実施のための調査・設計事業1,089万円
  - ・新型コロナウイルスワクチン秋開始接種に係る事業費1億2,384万円余
  - ・子宮頸がんワクチン予防接種における9価ワクチン承認に伴うワクチン単価上昇への対応930万円余
- 【総務費】
- ・定任促進対策事業、ふるさと納税事業、結婚支援事業の追加2,078万円余
- 【民生費】
- ・老人健康福祉センター修繕費508万円余、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業の新規対応分の追加400万円
- 【農林水産業費】
- ・農業振興費・農地費の追加4,568万円余、林業振興費の追加386万円余
- 【教育費】
- ・日下部小学校施設修繕費184万円余、部活動地域移行推進事業など144万円余、「ちよいとトレ」プロジェクト健康遊具設置事業500万円

## 令和5年9月定例会議案等審議結果

### 9月定例会議案等審議結果（議長を除く）

（賛：原案に賛成 反：原案に反対 棄：棄権）

議案番号	議案名	萩原 弥香	宮川 真有	遠山 雄二	深沢 敏彦	糠信 平	藤巻 豊彦	星野 洋	古屋 弘和	三枝 正文	武井 寿幸	矢崎 和也	木内 健司	小野 鈴枝	村田 浩	岩崎 友江	向山 輝	審議結果	
第68号	山梨市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第69号	公益的法人等への山梨市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第70号	山梨市職員給与条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第71号	山梨市税条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第72号	山梨市民会館・花かげホール運営委員会設置条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第73号	山梨市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第74号	令和5年度山梨市一般会計補正予算（第3号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決

議案 番号	議員名 件名	萩原	宮川	遠山	深沢	糠信	藤巻	星野	古屋	三枝	武井	矢崎	木内	小野	村田	岩崎	向山	審議結果
		弥香	真有	雄二	敏彦	平	豊彦	洋	弘和	正文	寿幸	和也	健司	鈴枝	浩	友江	輝	
第75号	令和5年度山梨市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第76号	令和5年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第77号	令和5年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第1号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第78号	令和5年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算(第1号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第79号	令和5年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第1号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第80号	令和5年度山梨市水道事業会計補正予算(第2号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第81号	令和5年度山梨市簡易水道事業会計補正予算(第2号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第82号	令和4年度山梨市一般会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第83号	令和4年度山梨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第84号	令和4年度山梨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第85号	令和4年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第86号	令和4年度山梨市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第87号	令和4年度山梨市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第88号	令和4年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第89号	令和4年度山梨市活性化事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第90号	令和4年度山梨市諏訪財産区特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第91号	令和4年度山梨市西保財産区特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第92号	令和4年度山梨市水道事業会計決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第93号	令和4年度山梨市簡易水道事業会計決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第94号	令和4年度山梨市下水道事業会計決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第95号	令和4年度山梨市病院事業会計決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第96号	山梨市名誉市民の推挙について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
第97号	山梨市農業委員会の委員の任命について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
諮問 第2号	人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認 適 め る と
山議案 第3号	加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
請願 第2号	加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	採 択



**問** 市民総合体育館改修と周辺のスポート環境整備について

①体育館改修規模とスケジュールについて。②空調設備の導入について。③体育館周辺の「スポート環境整備」の今後の計画について。

市長 高木晴雄

**答**

①改修規模は、エントランス、メインアリーナの階段、廊下、天井、ボイラー室、トイレ等を対象としている。スケジュールについては、既に改修方法が決定している箇所については年度内に工事に着手するが、令和7年度から本格的な改修工事スタートさせ、令和9年度に県内で実施されるインターハイに間に合うよう、令和8年度末には完成させる予定である。

②導入には、インシャルコストやランニングコストが高額となることが予想されるため、費用面でも優れているミストシャワーなどの実証実験を行う中で、既に導入した県や他の自治体の運用状況等を調査・研究していく。また、災害時等、避難所としての使用も想定されることから、防災面での国からの財政措置等の活用についても協議していく。③市民の意見を聞き取りながら全体構想を描き、本市のスポート推進計画の理念の実現に向けて積極的に取り組んでいく。

**問** 有害鳥獣処理施設について

①ジビエの県内の利用状況について。②政府のジビエ利用拡大方針を踏まえた、本市の具体的な取組み及び有害鳥獣処理施設導入の課題について。

市長 高木晴雄

**答**

①平成29年度にシカ肉の安全・安心を担保する県独自の「やまなしジビエ認証制度」が創設され、北杜市など4市町村の加工施設が認定を受けており、

現在は一つの民間施設を含め、5施設が認証を受けて運営している。また、令和3年度のシカ処理頭数は522頭であり、ジビエ利用率は全体捕獲頭数の約3%である。②現在、捕獲後の処理の負担軽減を図ることのできる処理施設の導入について調査している。また、ジビエ施設運営は、衛生面への配慮や処理施設周辺住民の理解を得ること、ジビエ利用販路の確保も必要となるなど、多くの課題がある。

**問** 入札制度改革の進捗状況について

入札制度改革に向けた作業の具体的な進捗状況について。  
管財課長 岡田佳治

**答**

昨年度まで建設工事等の一般競争入札の対象設定額を5,000万円以上としてきたが、入札制度の更なる競争性、透明性、公平性の確保が急務と考え、設定額の引き下げなどについて検討を重ねてきた。その結果、本市では1,000万円以上の建設工事等を一般競争入札の対象とすることが適当であると判断し、事務処理要領の改訂を進め、本年4月から本格的に運用を始め、8月までの一般競争入札による入札割合

も約46%を占め、落札率も3%程度低く抑えられた。今後も入札への参加機会の更なる確保と競争性、透明性、公平性の向上に努めていく。

その他の質問

- 奨学金返還支援による若者の地方定着の促進について
- ペビーターテックへの助成について
- マイナンバーカードトラブルにおける情報連携等の総点検推進状況について
- パブリックコメント(意見公募)制度について
- 所有者不明土地問題について
- 小中学校のICT化の現状と成果について



▲山梨市民総合体育館



**問** がんとの共生における「外見のケア」医療用ウィッグなどの助成について

治療で外見が変化した患者に皮膚科や形成外科の治療や苦痛を軽減する「外見のケア」などに助成制度を設ける自治体が増えてきた。

①本市で助成制度の対象者になりうる方々の状況について。②対象者に対する相談支援体制について。③本市でも対象者に対する医療用ウィッグ等の助成制度を検討してもらいたいが見解を伺いたい。

市長 高木晴雄

**答** ①対象者は令和元年時点で287人、令和3年度中

には新たに14人である。②県が設置している「山梨県がん患者サポートセンター」にて相談に応じている。なお、県内4か所の相談支援センターが設けられており、市内では山梨厚生病院に設置されている。③行政支援としては大変有意義で重要であると考えており、先進的に助成制度を導入している自治体から情報収集を行い検討していく。

**問** 徳和観光駐車場の公衆トイレについて

平成6年に農林水産省の補助を活用し乾徳公園が作られ、その際の公衆トイレはすべて和式である。

①現状、公衆トイレが明らかに不足しているため、新設を検討してほしいが如何か。②地元要望を受け、仮設トイレを増設することだが、場所や維持管理について伺いたい。③新設工事費や維持管理費を利用者から負担してもらう有料トイレの考え、また、登山

客からの意見等の投書箱の設置について、市の見解を伺いたい。

市長 高木晴雄

**答** ①利用状況を確認したうえで新たなトイレを建築するか、現在のトイレを洋式化し便器が不足の場合は仮設トイレによる増設等、総合的に検討していく。

②徳和区から混雑する際の民家のトイレを借用する登山者の対応相談を受けており、仮設トイレ2棟を現在の公衆トイレの東側に設置する。維持管理は汲み取りを業者に依頼し、水の補給は区と協力して対応する。③徳和観光駐車場のトイレに利用者からの募金箱が設置されている。有料トイレは、普通のトイレに比べ、維持管理費や手間がかかるため、今のところ考えていないが施設管理上、効果が高い方法を調査・研究していく。なお、投書箱については、設置を検討している。

**問** 自転車用ヘルメットの購入費補助について

①本市では交通・火災災害共済事業に取り組んでいるが、昨年度の自転車に関係する事故件数について。②本市でも自転車用ヘル

メット着用義務を推進するため、補助制度が必要であると考えるが、購入費用の補助制度について、市民への後押しと市の見解を伺いたい。

総務課長 竹川一郎

**答** ①自転車に関係する事故の申請件数は13件である。

②補助制度の創設も含め、自転車利用者の頭部を守るヘルメットについて普及促進を図る取り組みの実施を検討している。

＜その他の質問＞

- 子ども未来戦略方針に基づく本市の少子化対策について
- 子どもの行事参加に対する休暇について
- 老老介護の家族の把握について
- 本市と美祿市の子どもたちとの交流事業について
- 全国学力・学習状況調査結果について



▲自転車用ヘルメット



**問** 令和4年度の一般会計決算の特徴について

①一般会計における実質収支額が例年より多くなっている理由について。②令和4年度「経常収支比率」の値をどのように市では考えているのか。③実質公債費比率が前年度より0.3ポイント上がった要因について。

市長 高木晴雄

**答**

①国からの感染症対応地地方創生臨時交付金を活用した結果、一般財源が抑えられ、令和4年度の単年度収支が2億2,400万円余の黒字となり、前年度からの繰越金16億9,100万円余を合わせ、令和4年度決算における実質収支額は、19億1,

600万円余となった。②令和4年度決算では95.6%と過去最大で、人件費や一部事務組合への負担金が減額となったが、それ以上に地方交付税等の計上一般財源が減額になったことが原因であると分析している。③建設公債費等の元利償還金の増額や簡易水道事業における償還に対する繰出金の増額に加え、普通交付税や臨時財政対策債発行可能額などが減額となった。

**問** 今後の自治会のあり方に関する考えについて

①運営が困難な自治会に対し、どのような対応をしているのか。②総務省が推奨する「地域運営組織」について、市の見解を伺いたい。

総務課長 竹川一郎

**答**

①これまで通りの運営維持が困難な状況に直面しているとの相談が一部自治会から寄せられており、相談を受けた自治会に対し、地域の現状を伺い、解

散や合併による影響や問題について説明する中で最良の方針を協議していく。②先進事例を参考に本市でも導入が可能か地域の方の声を聴きながら研究していく。

**問** 自殺対策について

①本市の自殺死亡率の現状と推移について。②本市の自殺対策における課題について。③「第2期山梨市自殺対策推進計画」において、市が重点的に取り組もうとする内容について。

健康増進課長 矢崎貴恵

**答**

①人口10万人当たりの本市の自殺死亡率は、令和元年は8.6、令和2年は14.5、令和3年は38.0、令和4年は20.7であり、コロナ禍以降、増加傾向にある。②働き盛りの男性に対するアプローチや相談窓口等の認知度が低いことも課題であり、周知の強化が必要と考える。③新たに策定する第2期計画に即し、自殺対策を地域で支える体制づくりを強化していく。

**問** 水利(堰)の管理について

水門管理には細心の注意が必要であり、適切な水量を常に確保していくために、行政として

出来ることはないか。

農林課長 根津昭彦

**答**

水路の分水部や漏水箇所など、適切な水量の確保が困難で構造上改善が必要な場合については、地元区を通じて対応しており、今後、一層の強化を図る。緊急時の水門管理については、降雨状況の情報がいち早く得られる市において、それぞれの水門管理者へのバックアップ体制の構築も検討する。

その他の質問

- 循環型社会の形成推進について
- 性的少数者への理解増進法の施行に伴う本市の対応等について
- 住民主体のまちづくりについて
- 熱中症対策について
- アフターコロナにおける本市の観光施策について
- デジタル教科書について



▲水利(堰)

## 一般質問



向山 輝 議員

尚志会

**問** 市税の収入状況と今後の見込みについて

①令和4年度と前年度の決算額を比較した場合、各税目の増減理由に関する市の分析について。②令和5年度当初予算における税収見込みでは1.1%増の見込みに留めているが、中間期となる9月現在の各税収見込みの分析について。③市民税や固定資産税などを増やす対策について。

市長 高木晴雄

**答**

①市民税は農業収入の増加等により5.07%、固定資産税は3.03%増加し、法人税は中小企業が物価高騰等の影響を受けるなど18.79%減額となっているが市税全体では前年度比3.25%増加である。②市税全体では0.18%減額で現年度課税分は0.19%増額、滞納繰越分は10.59%減額となっており、今年度の調定額はそれほど伸びないと分析している。③窓口の予約制による対応時間の延長やQRコード決済の導入により利便性向上を図るとも

にIT関連を中心に企業誘致や進出を促していく。

**問** ふるさと納税制度における国の告示改正に伴う本市の対応等について

①令和4年度の経費総額と経費率、他自治体への流出額について。②本年10月から適用される改正募集適正基準において、市では具体的にどのように対応するのか。

市長 高木晴雄

**答**

①経費総額は16億5,668万4,511円で、寄附額に対し、経費率は約46.2%であり、流出納税額は8,300万円余である。②改正により寄附金額の表示を上げざるを得ないと考えるが、市の重要な財源のため、適正な運営を行っていくよう努めていく。

**問** 機構借受農地整備事業について

本事業で補正予算の希望があった場合、県への要望も含めて伺いたい。

農林課長 根津昭彦

**答**

今年度は6件分の予算を確保しており、不足する場合は県に要望していく。

**その他の質問**

○認知症施策における計画策定とその考え方について

○ヤングケアラーに対する支援等について



▲ふるさと納税



矢崎和也 議員

新翔会

**問** ふるさと納税における富士吉田市との連携協定及び総務省の制度改正について

①令和4年に富士吉田市で取扱われた本市産シャインマスカットと桃の金額と本市で取扱った富士吉田市の返礼品の品数と金額について。②過去の市長の答弁どおり、富士吉田市の返礼品の全てが、本市で取扱えることに間違いはないか。③取扱い金額の差を是正するために、この1年でどのような取組がされ、是正はできたのか。④総務省の制度改正による生産者と事業者への影響について。

市長 高木晴雄

**答**

①富士吉田市の本市産シャインマスカットの取扱金額は4億3,000万円余、桃は3,400万円余であり、本市が取扱った富士吉田市産返礼品は60品目で1,000万円余である。②登録されている返礼品全般を取扱えるかと判断しているが、生産企業側の規定により取扱えない品も存在する。③返礼品の取扱い

事業者を増やす取組みを行い、微増だが成果は出ている。④現時点で事業者への影響はないと考えられるが、今後寄附金額の見直しの必要性があると考えている。

**問** アザレアタウン整備事業について

①総事業費約110億円の内、本市が負担する金額について。②組合施工の事業に市は、どの程度関わっていくのか。③事業整備効果について。④誘致施設の目処と商工会や地元商店への対応について。⑤土地区画整理事業による地権者への影響について。

都市計画課長 飯島幹根

**答**

①約60億円を見込んでいる。②技術面、財政面から組合を支援する。③2040年頃に住宅約500戸、人口2,000人の受け皿になると期待している。④民間事業者の意向を把握し、地元商店等への対応も含めて準備委員会とともに慎重に検討していく。⑤県内の同様の事業で減歩の他に負担が生じた事例はない。

**その他の質問**

○山梨市小学校の学力調査結果について



▲アザレアタウン



藤巻豊彦 議員

尚志会

**問** オーガニック給食の推進について

子ども達への食の提供が見直され、有機農産物を使用したオーガニック給食を取り入れる自治体給食が増加傾向にある。先進地では、買取価格の上乗せ分を行政が負担する仕組み作りや、ふるさと納税の返礼品として提供するなど、環境負荷の軽減や子ども達の健全な体作りにも有効な手段である。

①市内に有機農業を主たる栽培方法としている生産者及び生産者組織はどれくらいおり、どのような農産物を栽培しているのか。また、市内保育園や学校給食に有機農産物を提供している実績等について。②みどりの食料システム戦略の「オーガニックビレッジ宣言」で地域ぐるみで取り組む市町村等を支援する事業を創設しているが、本市では何らかの取り組みを考えているのか。また、有機農産物の販路拡大の観点からも本市の考えを伺いたい。

**答**

市長 高木晴雄

①牧丘町有機農業研究会関係者が大根やジャガイモなどの野菜を中心に栽培している。学校給食への提供は、令和3年度より有機農産物安定供給体制構築事業により継続的に取り組んでいるが、保育園での実績はない。②関係機関と連携をした生産技術支援、圃場整備、流通先の確保などが必要と考えており、「みどりの食料システム戦略」が目指す国の工程表を参考に、事業推進について積極的に取り組んでいく。

その他の質問

○消防団員の処遇改善と消防団再編計画について  
○山梨県地震被害想定調査結果を踏まえた取り組みについて  
○スポーツ推進に関する考え方と国体誘致に関連する考え方について



▲オーガニック給食



深沢敏彦 議員

市民クラブ

**問** 太陽光発電設備の状況と太陽光パネルのリサイクルについて

①市内の太陽光発電設備の設置状況について。②太陽光発電設備設置への市の関与について。③今後予想される太陽光パネルのリサイクルについて。

市長 高木晴雄

**答** ①令和4年度末の市内の導入件数は2,203件、容量は45,591kWである。②設置規制区域の野立ての設備設置は、県の許可が必要であり、市は県から意見を求められる。設置規制区域外においては、説明会を要する場合の区域等の相談を行う。③認定業者には、廃棄費用の積立が義務付けられているが、パネルのリサイクル義務はなく、廃棄物処理に関する法律に則り処理される。また、環境省のガイドラインでは、リデュース、リユース、リサイクルが望まれているが、判断は事業者によるため、国の動向を注視し、適正な処

**問**

教育委員の一名増員の理由と期待効果について

①県内市町村における組織体制状況について。②新たに条例を制定し1名増員とした目的について。③新たな委員会体制への期待について。

教育長 嶋崎修

**答** ①教育委員を5名に定めている自治体は、本市の他に6市であり、その他20市町村が4名、1村が3名の構成である。②新しい時代の学校教育、生涯学習の充実、共生社会の実現等の地域社会が抱える課題を的確に捉え、本市における教育行政の推進を目的としている。③新たにスポーツ・共生社会分野から委員を選出しており、共生社会の形成に向け、インクルーシブ教育システムの構築も進めていく上で、貴重な意見を求めることが期待できる。

その他の質問

○根津記念館運営体制見直しに関する現状について



▲根津記念館

## 一般質問



宮川真有 議員

新翔会

**問** LEDを活用した街灯の設置について

本市は脱炭素の取り組みとして、また将来的に見た財政負担軽減のためLED化に尽力されているが、これらを活用し、暗い道を減らし、更には市民の安心安全に繋がる事業があれば伺いたい。

総務課長 竹川一郎

**答** 市所有の道路照明灯及び防犯灯は「山梨市公共施設一括LED化事業」にてLED照明に取替え予定である。また、区所有の防犯灯は、LED照明への取替補助事業を実施している。今後これらの補助事業を継続実施し、住民の安心安全に繋げていく。

**問** わが市の教員不足の現状と改善について

現在、全国的に教員不足の状況が続く、本市も不足の状態である。  
①教員不足により特別支援教育支援員の業務や責任が増えてしまふケースはあったのか伺いたい。  
②市単教員と県の期間採用教員との差について、県に要望等をし、

教員不足解消に向けて動いたことがあるのか伺いたい。

学校教育課長 磯村賢一

**答** ①急な欠員が生じた際に、他の教員や特別支援員への負担が生じたことも把握している。②市町村が単独に採用する教員については、市町村ごとに採用条件が異なるため、県の教員採用試験における一次試験等の免除要件の公平性を保つことが難しいことから、対象から外しているとの回答を県より受けているが、本市の市単教諭は正規の教員と同等の任務を担っているため、引き続き県に働きかけていく。

その他の質問

○キャッシュレス決済に係るポイント還元キャンペーン事業について



▲LEDを活用した防犯灯



小野鈴枝 議員

市民クラブ

**問** 旧市役所跡地について

①約10年以内は多目的な利用ができる広場としていたが、なぜ恒久的な広場として決定しないのか。②広場の芝生について、この計画の芝は天然芝なのか。

市長 高木晴雄

**答** ①跡地活用検討委員会の提案の中では、活用の方角性としてアザレアタウンの開発や周辺整備等を勘案すると、前期10年を活用期間の目安とすることが望ましいとされている。これらを踏まえ、「多目的な利用をイメージした広場」を中核とした空間活用が最も適しているものと考え、年内中には市民に具体的な活用イメージを示す中でパブリックコメントを実施し、実施設計に繋げる準備を進めている。将来的には恒久的に広場としての機能を継続していくことも考えている。②今後、詳細設計の中で芝生の管理面での業務やコスト等も十分考慮し決定していく。

**問** 山梨市駅南口とカーボン跡地の本市の構想について

カーボン跡地について、その後の進展及び駅南口も含めたカーボン跡地の本市の構想について伺いたい。

総合政策課長 古屋健司

**答** 今後、当該土地を取得し、たうえで、筆界未定地の整理など都市誘導に必要となる条件整備を行い、並行して有識者、地権者代表で構成する「検討委員会」を立ち上げ、活用方策を検討する必要がありと考えている。南口開発の会において、改めて本市の考えを説明し、地権者の皆さんからご理解をいただいた。さらに構想策定の体制づくりとして、専門部会を庁内に設置し、総合的に調整を図っていく考えである。

その他の質問

○山梨市宿泊型産後ケア事業について

○新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の学校行事対応について



▲旧市役所跡地



木内健司 議員  
公明党

**問** #71119 救急安心センター事業について

本事業は、急なケガや病気などで救急車を呼ぶべきか判断に迷った際、#71119に電話することで、医師や看護師等から24時間365日体制で受診の必要性や対処方法の助言、受診可能な医療機関の情報が入内される。

県下全域での事業展開となる本事業の期待される効果について。

市長 高木晴雄

**答** 利用者からの要請に対する緊急性を判別し、適切な医療サービスの提供に繋げることが出来る。また、急を要さない救急出動が抑制されることにより、救急車の到着時間の短縮が可能となる。市では本事業の効果を十分得られるよう周知を図っていく。

**問** 防火・防煙シャッターについて

①本市の学校を含めた公共施設における防火・防煙シャッターの設置数及び定期点検の状況について

て。②事故防止のための安全装置の取り付け状況について。③各小中学校において、防火シャッターに関する児童生徒への指導状況について。

管財課長 岡田佳治

**答** ①本市の公共施設における設置数は86基であり、毎年全ての施設で点検業務を実施している。②設置が義務化された平成17年以前に建設された公共施設では設置されていない設備もあり、今後、設置について検討していく。③各小中学校においては、防災訓練等の際に防火シャッターの役割とともに作動時の注意点につき指導しており、今後も適切に指導していく。

**その他の質問**  
○バランスボールを活用した取り組みについて  
○空き家バンクの情報発信強化について

“救急受診するべきか”  
医師が直接応えます  
※この電話は「診療」ではなく  
患者様・ご家族の判断の手助けを行うものです  
#7119 24時間 365日受付  
※団体による受付時間  
平日 17:30～21:00  
相談料 無料  
山梨県救急安心センター事業委託団体  
医師のいる救急医療相談

▲ #7119



遠山雄二 議員  
新翔会

**問** 放課後児童健全育成事業・放課後児童クラブの充実について

本市内の学童施設では、定員を超過している場所もあり、働く保護者のキャリアへの影響や民間施設に頼るなど金銭的な負担が増すなど、待機児童の課題を抱えている。さらに小学校の長期休業時ではお弁当持参を求められており、作る負担と保管状況による食中毒の危険などの課題があり、保護者から改善を求める声が上がっている。

①週末及び長期休業中の昼食提供について。②市内学童施設の学年別待機児童数と対策計画について。

市長 高木晴雄

**答** ①昼食提供について検討を進めているところであり、安心して利用できる昼食提供のあり方について検討していく。②待機児童は、3年生12名、4年生3名、5年生1名の合計16名であり、待機児童対策は、国のこども未来戦略方針の重点施策に位置付けられたた

め、この動向を注視している。定住・転入を増やす少子化対策について

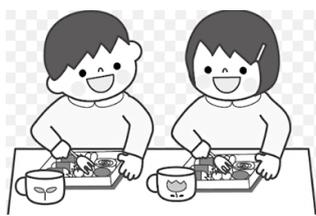
人口減少に歯止めをかけるには、外から人を呼び込むのに加えて、地元で生まれる子どもを増やすための工夫が欠かせない。根本は若い世代が将来明るい展望を持ち、安心して子供を産み、育むことが出来るような社会を創り出す環境が必要不可欠である。

①小中学校給食費無償化について。②少子化対策に向けた新施設設などの構想について。

子育て支援課長 古屋真里子

**答** ①国は、こども未来戦略方針の中で検討するとしており、この動向を注視していく。②市民アンケートでも要望をいただいており、健やかな成長につながるような屋内遊び場の設置を検討しているところ。

**その他の質問**  
○農地法の一部改正による農地の有効利用について  
○道路及び空地・空き家・農地等の雑草対策について



▲学童保育でのお弁当

## 一般質問



平 信 議員

日本共産党

**問** 自衛隊への個人情報提供について

①自衛隊・警察・消防・市役所などへ採用の為の個人情報提供を行っているか。②個人情報保護審査会への諮問について。③除外申請の現状と今後について。

市長 高木晴雄

**答** ①自衛隊山梨地方協力本部の依頼に基づき、18歳及び21歳になる方の情報を紙媒体の名簿により提供している。なお、警察、消防、市役所への職員採用を目的とした個人情報の提供は現在行っていない。②個人情報保護審査会への諮問は行っていない。

③法令等に取り扱いがないため行っていないが、県内市町村の対応状況も踏まえ検討していく。

**書問** 名簿形式での提出を止めるべきと考えるが、市の見解について。

防災危機管理課長 玄間達広

**答** 公益性を総合的に勘案し、今後求めにに対処していく。

**問** 過疎地域の若者達の現状について

①若者が集える機会や場所の創出について、市ではどのような取り組みが考えられるか。②若者が入居しやすく安価に借りることができる公営住宅があれば、住宅名や入居要件等を伺いたい。

地域資源開発課長 平野宗則

**答** ①大学連携による協働事業やNPO法人が取り組む事業へ参加してもらい、移住者と地域の若者が交流する機会を創出することも効果的であり、コロナ禍前に実施していた交流事業を再構築し、若者が自分の居場所が見つけれられる取組みを積極的に進めていく。②三富地域に若者定住促進住宅があり、持ち家取得による市内定住希望者で年齢や一定額以上の収入などを入居要件とし、入居後に持ち家を取得された方への「祝い金」支給制度も設けている。

その他の質問

○マイナンバーカードについて  
○キャッシュレス決済について



▲自衛隊

## オンライン訪問診療車説明・見学会

令和5年9月26日、「オンライン訪問診療車」説明会・モデル車両見学会が開催され、市議会議員も参加しました。本市では、地域医療における課題解決のため、県内初となるオンライン訪問診療車両を導入した訪問診療を目指しています。説明会では、地域医療を取り巻く課題や導入車両について説明を受けた後、モデル車両の見学も行いました。



▲モデル車両見学会の様子

総務常任委員会

付託議案

- 議案第68号 山梨市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第69号 公益的法人等への山梨市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第70号 山梨市職員給与条例の一部を改正する条例について
- 議案第71号 山梨市税条例の一部を改正する条例について
- 議案第74号 令和5年度山梨市一般会計補正予算(第3号)関係付託部分
- 議案第75号 令和5年度山梨市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入に関する部分、歳出に関する部分の内の  
 (1)議会費(2)総務費(統計調査費を除く)(3)民生費(後期高齢者医療)(9)消防費(12)公債費(13)諸支出金  
 第2表「継続費」第3表「繰越明許費補正」  
 第4表「地方債補正」

総務常任委員会

- ◎岩崎 友江 ○遠山 雄二
- 土屋 裕紀 藤巻 豊彦
- 木内 健司 村田 浩

○「議案第68号 山梨市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例について」

**問** 本条例改正は国の行政手続オンライン化法を受けての改正ということであり、全国一律での条例改正だと思うが、改正にあたり本市の独自性というものが含まれるのか伺いたい。

**答** オンライン化法の関係で改正しなければならぬものについては、全国一律での改正となるので、本条例改正では自治体の独自性はない。ただし、オンライン申請をしたときの手数料等については、規則や要綱で定めることとなるので、そこで各自治体の独自性が出てくると思われる。

○「議案第74号 令和5年度山梨市一般会計補正予算(第3号)関係付託部分について」

**問** 歳出、2款総務費、1項総務管理費のうち、市民バス運行経費について来年3月からデマンド交通実証運行を一年間行い、最後の1ヶ月で検証するスケジュールのようなのだが、実証運行をしながらの検証はしないのか伺いたい。

**答** 実証運行は最低でも半年以上しないと結果がわかりにくいので、長めの一年間とさせてもらったが、実証運行と並行して微調整をかけながら、もともと適した方向に向けて検証していく。

**問** 総務管理費のうち、ふるさと納税事業経費について、ふるさと納税の分析はどのようなことをする



▲総務常任委員会での審査の様子

のか伺いたい。

**答** ポータルサイトの分析を行い、寄附額を増やすための戦略立案やサイト内のタイトル変更、返礼品の画像の見せ方、説明文の内容精査など、高精度なPRの手法について、市に対してアドバイスや指導をもらう。

**問** 歳出、9款消防費、1項消防費のうち、消防施設整備事業経費について、消防団の再編により使用しなくなった消防団所の解体にあたり、事前にアスベスト検査を実施することだが、古い消防団所を解体する場合はすべてが検査対象となるのか伺いたい。

**答** 現時点で解体の対象となっていないのは三富分団で、市内には使用しなくなった団所が3箇所ある。建物が古いため解体する場合はすべて検査が必要になる。

※現地調査として、山梨公民館で行われている「リモート窓口実証事業」の視察を行った。



▲リモート窓口実証事業視察の様子(山梨公民館)

# 委員会報告

## 建設経済常任委員会

### 付託議案

議案第74号 令和5年度山梨市一般会計補正予算(第3号)関係付託部分歳入に関する部分、歳出に関する部分のうち  
 (2)総務費(統計調査費)(6)農林水産業費(7)商工費(8)土木費(11)災害復旧費  
 第4表「地方債補正」  
 議案第76号 令和5年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)  
 議案第79号 令和5年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第1号)  
 議案第80号 令和5年度山梨市水道事業会計補正予算(第2号)  
 議案第81号 令和5年度山梨市簡易水道事業会計補正予算(第2号)

### 建設経済常任委員会

◎武井 寿幸 ○宮川 真有  
 萩原 弥香 星野 洋  
 古屋 弘和 小野 鈴枝

○「議案第74号 令和5年度山梨市一般会計補正予算(第3号)関係付託部分について」

**問** 歳出、6款農林水産業費、1項、農業費のうち、農業振興事業について、世界農業遺産の認定を今後どのように周知していくか伺いたい。

**答** 世界農業遺産認定に伴い、峡東3市で構成する峡東地域世界農業遺産推進協議会で、『峡東地域世界農業遺産フェスティバル』を開催したところであるが、さらなる認知度向上を図るため、イベント時に配布するコルクコースターやエコバッグなどのノベルティグッズを市独自で作成するほか、特に市外への周知を図るため、ポスターを作成し、引き続き効果的な周知を行っていく。

**問** 歳出、6款農林水産業費、1項、農業費のうち、果樹振興事業及び新規就農者育成総合対策事業について詳細を伺いたい。

**答** 果樹振興事業は、主にやまなし産地パワーアップ事業の活用希望者の増加によるもので、申請の内訳としてトンネルメッシュ14件、加温ハウス2件の整備要望に対応するため、132万円余の補正を行うものである。また、新規就農者育成総合対策事業は、親元に就農した新規就農者への補助事業について、当初4人を想定していた対象者が4人増え合計8人となったため、不足する400万円を補正するものである。

**問** 歳出7款商工費、1項商工費のうち、商工業活性化事業について詳細を伺いたい。

**答** 燃料費をはじめとする



▲建設経済常任委員会での審査の様子

物価高騰が続く中で、市内経済の活性化と消費喚起を図るほか、市内中小事業者のキャッシュレス化の推進を図るため、1億7,290万円余を補正するとともに、予備費7,709万円余を充用した総額2億5,000万円を事業費として『キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン事業』を行うものである。実施期間は、11月20日から12月20日までとし、対象店舗でPayPay(ペイペイ)など4社のキャッシュレス決済を利用した場合、各社5,000円の還元上限額まで、30%のポイントを還元するものである。なお、キャンペーン実施期間前に、利用者・事業者に向けた説明会を複数回開催する予定である。

**問** 繰越明許費を設定する橋梁長寿命歳出、8款土木費、1項土木管理費のうち、土木総務管理経費230万円の詳細について伺いたい。

**答** 昨年崩落した窪平保育園東側の法面部分について、県が行う急傾斜地崩壊対策事業で改修できることとなったため、事業費のうち市の負担分である230万円を、緊急自然災害防止対策事業債を活用し実施するものである。

**答** 昨現地調査として、やまなし産地パワーアップ事業を活用し、トンネルメッシュを整備した堀内地内の圃場と、窪平地内の県営急傾斜地崩壊対策事業施工箇所の視察を行った。

※現地調査として、やまなし産地パワーアップ事業を活用し、トンネルメッシュを整備した堀内地内の圃場と、窪平地内の県営急傾斜地崩壊対策事業施工箇所の視察を行った。



▲トンネルメッシュ視察の様子

教育民生常任委員会

付託議案

議案第72号 山梨市民会館・花かげホール運営委員会設置条例の一部を改正する条例について  
 議案第73号 山梨市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について  
 議案第74号 令和5年度山梨市一般会計補正予算(第3号)関係付託部分歳入に関する部分、歳出に関する部分のうち  
 議案第75号 (3)民生費(後期高齢者医療費を除く)(4)衛生費(10)教育費第3表「繰越明許費補正」  
 議案第77号 令和5年度山梨市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)  
 議案第78号 令和5年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第1号)  
 請願第2号 令和5年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算(第1号)  
 令和5年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算(第1号)  
 加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

教育民生常任委員会

◎矢崎 和也 ○向山 輝  
 深沢 敏彦 糠信 平  
 三枝 正文

○「議案第74号 令和5年度山梨市一般会計補正予算(第3号)関係付託部分について」  
**問** 歳出、3款民生費、2項児童福祉費のうち、子ども子育て支援事業計画策定事業経費について、計画策定に伴うニーズ調査の業務委託が不調になった理由について伺いたい。

**答** 仕様書で個人情報取り扱いについて、参加資格を厳しくしたこと、また、指名業者が他の計画策定の業務を請け負っており体制的に余裕がないことが理由であり、県内の他市でもニーズ調査が不調になっている状況である。

**問** 歳出、4款衛生費、1項保健衛生費のうち、予防接種費について、子宮頸がんワクチンについて、令和5年度の接種率

はどの程度を見込んでいるか伺いたい。

**答** 令和5年度は160人程の接種を見込んでおり、対象者の1割弱が接種できる準備を整えている。

**問** 歳出、10款教育費、6項保健体育費のうち、山梨体育施設管理経費について、ちよいとプロジェクト推進事業の内容について詳細を伺いたい。

**答** ストレッチや軽い運動などの健康器具を設置する経費として県が補助金を出すものである。予定では小原スポーツ広場敷地内に、ストレッチ



▲教育民生常任委員会での審査の様子

などの健康器具を設置する計画である。

○「議案第77号 令和5年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第1号)について」  
**問** 歳出、3款地域支援事業費、2項包括的支援事業・任意事業費のうち、任意事業費について、介護保険慰労金支給事業の内容について詳細を伺いたい。

**答** 介護保険を利用していない介護度4、5の寝たきりの高齢者の方などを介護されているご家族に対し慰労金6万円を支給する事業であり、1年間介護保険のサービスを利用していなかったことが条件である。

※現地調査として、岩手保育園において行っている窪平保育園との合同保育の視察を行った。



▲岩手保育園合同保育視察の様子

# 委員会報告

## 決算特別委員会

### 付託議案

議案第82号	令和4年度山梨市一般会計歳入歳出決算認定について
議案第83号	令和4年度山梨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第84号	令和4年度山梨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
議案第85号	令和4年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第86号	令和4年度山梨市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第87号	令和4年度山梨市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第88号	令和4年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第89号	令和4年度山梨市生活性化事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第90号	令和4年度山梨市諏訪財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第91号	令和4年度山梨市西保財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第92号	令和4年度山梨市水道事業会計決算認定について
議案第93号	令和4年度山梨市簡易水道事業会計決算認定について
議案第94号	令和4年度山梨市下水道事業会計決算認定について
議案第95号	令和4年度山梨市病院事業会計決算認定について

### 決算特別委員会

◎木内 健司 ○武井 寿幸  
 宮川 真有 藤巻 豊彦  
 矢崎 和也 村田 浩  
 岩崎 友江

○「議案第82号 令和4年度山梨市一般会計歳入歳出決算認定について」

**問** 総務費のうち、物価高騰対策支援金給付事業経費に関して、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した原油価格や物価高騰等に対する独自支援策について、市ではどう評価しているのか伺いたい。

**答** 市の単独事業で行った全世界帯への一律3万円給付については、物価が高騰している中において、家計の助けになったとの意見ももらっており、評価は高いものであったと考えている。なお、交付金事業の総括について、もう少しあとになると思うので、市としてはそれまでに市民アンケートなどにより、市民の生の声を聴いて判断していきたい。

**問** 民生費のうち、生活困窮者自立支援事業経費に関して、子どもの学習生活支援事業に

ついては、数年間行っている事業であると思うが、どのように貧困に効果があったのか伺いたい。

**答** 小学生の参加者に対して、中学生の参加者が生活面の支援に積極的に関わったり、高校生が大学受験にチャレンジする様子を周りの子供に見せることにより、刺激を受け、中学生が自分の進路について高校生に相談するなど、異なる年齢間の子どものなかで、今まで人と関わることの少なかつた子どもが積極的に関わりを持つ場になっていいると報告を受けている。貧困対策は数字に表れにくいですが、参加している子どもの居場所づくりの場として有意義なものであると考えている。

**問** 教育費のうち、体育施設指定管理経費、山梨市体育施設管理経費に関して、令和4年度に施工した『山梨市民総合体育館武道館屋根雨漏り修繕』と『八幡スポーツ広場高圧設備更新修繕』

の内容について伺いたい。  
**答** 山梨市民総合体育館武道館の屋根の最上部から雨漏りがしていることから、屋根上部周りを補修したものである。また、八幡スポーツ広場高圧設備更新修繕については、スポーツ広場に高圧電流が流れる夜間照明があるため、落雷による波及事故を防ぐ対応として高圧電気中開閉器更新の修繕を実施した。

の内容について伺いたい。  
**答** 山梨市民総合体育館武道館の屋根雨漏り修繕については、ピラミット型をしている武道館の屋根の最上部から雨漏りがしていることから、屋根上部周りを補修したものである。また、八幡スポーツ広場高圧設備更新修繕については、スポーツ広場に高圧電流が流れる夜間照明があるため、落雷による波及事故を防ぐ対応として高圧電気中開閉器更新の修繕を実施した。

○「議案第87号 令和4年度山梨市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について」

**問** 地域支援事業費のうち、総合相談事業費に関して、高齢者に関する相談が5,314件とかなりあるが、どのような相談が多いのか伺いたい。

**答** 相談内容は、フレイルに関することが非常に多く

なっている。原因としてはコロナ禍があげられる。令和2年、3年の家の中にこもりがちで状況を受けての筋力低下や、もともと整形的な疾患をもった方が筋力まで弱くなり、歩けなくなってしまうという相談が多い。また、今までは頻繁に近所の方や親族が行き来できたものが、コロナ禍で行き来ができなかつたため、早期に認知症の発症が発見できず、重くなつた。加えて、転倒による骨折で、介護認定を急遽、必要とする方の相談も増えている。



▲決算特別委員会での審査の様子

# 議会活動日誌

## 9月

- ・令和5年9月定例会（8月31日～9月29日）
- ・第18回山梨市総合体育祭り（3日）
- ・民生委員・児童委員及び主任児童委員委嘱式（6日）
- ・令和5年度新100歳慶祝訪問（10日、18日）
- ・第39回山梨市巨峰の丘マラソン大会（17日）
- ・福田記念杯争奪東山梨地区中学生ソフトテニス大会（23日）
- ・オンライン訪問診療車両説明・見学会（26日）
- ・議員全員協議会（28日、29日）

## 10月

- ・新翔会・公明党行政視察研修（2日～4日）
- ・第70回甲州かつめまぶどうまつり（7日）
- ・市民クラブ・日本共産党行政視察研修（9日～11日）
- ・山梨県市議会議長会正副会長・局長事務局長会議（11日）
- ・市制施行18周年記念式典（15日）
- ・総務常任委員会行政視察研修（16日～18日）
- ・山梨県市議会議長会第270回定期総会（19日）
- ・陸上自衛隊北富士駐屯地記念式典（21日）
- ・議員全員協議会（26日）
- ・信玄公祭り山梨市隊出陣式（28日）
- ・ユネスコ絵画コンクール表彰式（29日）



## 11月

- ・甲州市市制施行18周年記念式典（1日）
- ・戦没者合同慰霊祭（1日）
- ・北海道新得町議会行政視察対応（1日）
- ・秋の観光地美化清掃（10日）
- ・令和5年度山梨市義務教育振興会議（10日）
- ・建設経済常任委員会行政視察研修（13日～15日）
- ・教育民生常任委員会行政視察研修（20日～22日）
- ・山梨市ボランティア大会（25日）



## 議員活動報告

令和5年8月4日、令和5年度山梨県市議会議長会議員合同研修会がアピオ甲府で開催され、市議会議員が参加しました。研修会では、茨城県取手市総務部情報管理課長の岩崎弘宜氏を講師に招き、「議会が遠い存在になっていませんか？～議会を身近に感じていただくには～」をテーマに講演が行われました。



▲議員合同研修会の様子

## 12月定例会開催予定

- 11月30日(木) 本会議（開会）
- 12月14日(木) 本会議（代表質問）
- 15日(金) 本会議（一般質問）
- 18日(月) 常任委員会
- 22日(金) 本会議（閉会）

※全日程午前10時から開会予定

「QRコード」読み取りで会議録などの情報を見ることができます。



## 編集後記

議会だよりをご覧いただきありがとうございます。  
 今年は記録的な猛暑が続き、この編集後記を寄稿中の9月末日も30度を超える陽気となり、皆様のもとに議会だよりが届く頃の陽気も心配されるところであります。  
 今回の議会だよりは9月議会の内容が中心となっております。分かりやすい編集を心掛けておりますが、市民の皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。

矢崎 和也

## 議会だより編集委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 岩崎 友江 |
| 副委員長 | 矢崎 和也 |
| 委員   | 小野 鈴枝 |
|      | 武井 寿幸 |
|      | 土屋 裕紀 |
|      | 萩原 弥香 |